



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月6日

上場会社名 六甲バター株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2266 URL http://www.qbb.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 宏和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役活性本部長 (氏名) 丸山 泰次 TEL (078)231-4681  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日~2020年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	39,811	2.4	1,143	△39.6	956	△48.4	441	△51.2
2019年12月期第3四半期	38,869	2.1	1,892	△39.0	1,854	△40.4	904	△57.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	22.67	—
2019年12月期第3四半期	46.42	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	55,617	27,249	49.0
2019年12月期	57,523	27,204	47.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 27,249百万円 2019年12月期 27,204百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	2.9	1,400	△37.3	1,270	△41.8	680	△30.6	34.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	21,452,125株	2019年12月期	21,452,125株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,968,213株	2019年12月期	1,968,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	19,483,984株	2019年12月期3Q	19,484,124株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の解除により人の移動や経済活動が再開されたことに加えて、新しい生活様式への対応による新規需要の創出から緩やかに回復傾向となった一方で、新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことに加えて、企業業績の悪化に伴う雇用・所得環境の悪化が懸念されるなど先行きは不透明感が強まる状況となりました。

食品業界ならびに当社の主力分野であるチーズ業界におきましては、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により外食産業向け需要が軟調であったものの、学校の再開による給食向け需要が徐々に回復したことに加えて、家庭内需要は堅調に推移いたしました。

このような市場環境のもと、当社といたしましては、新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されることから引き続き在宅勤務および時差勤務など感染拡大の防止対策を実施いたしました。さらに、食品メーカーとして最も重要な食の安全・安心の確保を最重点とし、品質管理体制の強化、基幹工場となる神戸工場の全面本稼働ならびに全生産ラインの安定稼働、新製品の開発、経費の削減に引き続き努めました。

今秋の新製品としては、チーズ部門において「ワインに合うベビーチーズ一年熟成」、「カマンベール入り6Pチーズ」、ナッツ部門において「ワインに合うチーズスナックミックス」、「ハイボールに合うチーズスナックミックス」、「レモンサワーに合うチーズスナックミックス」、「スナックミックス」を発売いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、業務用チーズ製品およびナッツ製品等の販売が減少した一方で、家庭用チーズ製品の販売が好調に推移したことから、売上高は398億1千1百万円（前年同四半期比102.4%）となりました。一方、営業利益は、神戸工場稼働に伴う減価償却費が増加したことにより、11億4千3百万円（前年同四半期比60.4%）となり、経常利益は9億5千6百万円（前年同四半期比51.6%）、四半期純利益は4億4千1百万円（前年同四半期比48.8%）となりました。売上高の内訳はチーズ部門が381億円（前年同四半期比102.8%）、チョコレート部門が11億2千9百万円（前年同四半期比105.8%）、ナッツ部門が5億1百万円（前年同四半期比77.9%）、その他部門が7千9百万円（前年同四半期比73.7%）となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産は、現金及び預金が16億8千6百万円、商品及び製品が4億9千1百万円、繰延税金資産が4億6千6百万円増加した一方で、売掛金が24億2千5百万円、未収消費税等が15億5千9百万円、有形固定資産が7億4千1百万円減少したこと等により、前事業年度末と比較し19億5百万円減少し、556億1千7百万円となりました。また、負債は、短期借入金が10億円、未払費用が5億5千万円、買掛金が2億9千7百万円減少したこと等により、前事業年度末と比較し19億5千万円減少し、283億6千8百万円となりました。純資産は、四半期純利益の計上等により、前事業年度末と比較し4千4百万円増加し、272億4千9百万円となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績が想定範囲内の進捗であるため、現時点では2020年2月7日発表のままとし、業績見通し等に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の感染再拡大や収束時期等を予測することは困難なことから、2020年12月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定を置き、会計上の見積りを行っております。この場合においては、当事業年度の財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であると考えております。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,762,780	7,448,834
電子記録債権	222,983	212,479
受取手形	—	2,754
売掛金	12,712,818	10,287,316
商品及び製品	2,419,347	2,910,879
仕掛品	137,967	110,443
原材料	1,630,604	1,870,251
前払費用	55,985	103,126
未収入金	104,270	178,243
未収消費税等	1,559,945	—
短期貸付金	1,949	1,635
その他	54,929	51,834
貸倒引当金	△2,600	△1,400
流動資産合計	24,660,982	23,176,399
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	17,638,463	17,626,369
減価償却累計額	△4,254,337	△4,910,863
建物(純額)	13,384,126	12,715,506
構築物	892,424	895,924
減価償却累計額	△399,490	△446,405
構築物(純額)	492,933	449,519
機械及び装置	21,064,134	21,883,342
減価償却累計額	△11,683,176	△12,845,031
機械及び装置(純額)	9,380,957	9,038,311
車両運搬具	109,882	101,894
減価償却累計額	△95,153	△91,571
車両運搬具(純額)	14,729	10,323
工具、器具及び備品	780,247	791,992
減価償却累計額	△593,236	△640,462
工具、器具及び備品(純額)	187,010	151,530
土地	3,710,268	3,710,268
建設仮勘定	687,794	1,040,648
有形固定資産合計	27,857,821	27,116,108
<b>無形固定資産</b>		
電話加入権	11,091	11,091
商標権	3,699	17,111
諸施設利用権	10,026	10,455
ソフトウェア	239,501	186,465
ソフトウェア仮勘定	—	9,778
無形固定資産合計	264,319	234,902

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,349,613	1,347,012
関係会社株式	1,326,310	1,326,310
従業員に対する長期貸付金	2,595	1,532
破産更生債権等	7,647	7,647
長期前払費用	22,795	9,603
長期未収入金	400,000	300,000
前払年金費用	962,619	970,143
繰延税金資産	568,790	1,035,020
その他	122,749	114,166
貸倒引当金	△22,948	△21,242
投資その他の資産合計	4,740,173	5,090,193
固定資産合計	32,862,314	32,441,204
資産合計	57,523,297	55,617,603
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	84,416	77,772
買掛金	4,527,941	4,230,536
短期借入金	17,000,000	16,000,000
リース債務	1,451	1,451
未払金	1,231,661	1,305,493
未払法人税等	125,294	305,355
未払消費税等	—	45,792
未払費用	4,922,164	4,372,116
預り金	149,066	14,578
設備関係電子記録債務	843,938	557,138
株主優待引当金	6,400	—
役員賞与引当金	40,000	—
その他	1,862	318
流動負債合計	28,934,196	26,910,553
固定負債		
リース債務	1,824	735
退職給付引当金	1,111,347	1,185,800
長期未払金	257,577	257,577
その他	13,910	13,910
固定負債合計	1,384,659	1,458,023
負債合計	30,318,855	28,368,577

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,843,203	2,843,203
資本剰余金		
資本準備金	800,000	800,000
その他資本剰余金	1,722,860	1,722,860
資本剰余金合計	2,522,860	2,522,860
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	411,592	391,323
別途積立金	19,100,000	19,100,000
繰越利益剰余金	3,992,703	4,064,927
利益剰余金合計	23,504,295	23,556,250
自己株式	△2,316,068	△2,316,220
株主資本合計	26,554,290	26,606,094
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	650,522	640,083
繰延ヘッジ損益	△371	2,848
評価・換算差額等合計	650,150	642,932
純資産合計	27,204,441	27,249,026
負債純資産合計	57,523,297	55,617,603

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	38,869,551	39,811,580
売上原価	22,565,505	23,632,324
売上総利益	16,304,045	16,179,256
販売費及び一般管理費	14,411,524	15,035,837
営業利益	1,892,521	1,143,418
営業外収益		
受取利息	8,232	3,960
受取配当金	16,844	18,168
収入貸貸料	18,450	10,787
資材売却益	6,310	2,647
その他	12,873	13,973
営業外収益合計	62,710	49,537
営業外費用		
支払利息	19,664	28,265
為替差損	16,962	28,100
支払手数料	1,000	—
貸貸資産費用	2,503	2,503
遊休資産費用	—	120,618
関係会社支援費用	54,840	52,207
その他	5,959	4,411
営業外費用合計	100,929	236,106
経常利益	1,854,302	956,849
特別損失		
固定資産廃棄損	14,926	25,897
減損損失	24,841	34,101
工場移転費用	480,711	280,894
特別損失合計	520,479	340,892
税引前四半期純利益	1,333,823	615,956
法人税、住民税及び事業税	968,000	647,000
法人税等調整額	△538,610	△472,679
法人税等合計	429,389	174,320
四半期純利益	904,434	441,635

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、神戸工場への設備の移転に伴い、第1四半期会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。この変更は、稲美工場の建物、構築物等について、将来の使用計画等を総合的に勘案した耐用年数に変更するものであります。

この結果、当第3四半期累計期間の減価償却費は1億6千5百万円増加し、営業利益は6千7百万円減少し、経常利益及び税引前四半期純利益は1億6千5百万円減少しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、2020年12月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定を置き、会計上の見積りを行っております。この場合においては、当事業年度の財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であると考えております。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。